

旧谷口分校の再建予算に

3月議会
定例会

3/13

予算特別委員会
本会議

付帯決議

ビジョン示し、理解を得て!!
「修正動議」「付帯決議」
共に金山町議会初

賛否が分かれる中、地域への配慮が不可欠で、施設寿命まで最大限活用できる施策が重要。町長からは西郷地域の活性化の拠点としての説明を聞いてきた。再建しなければ共済金が1500万円まで減額され、共済金7800万円を活用した再建はコスト的にいい。地域振興策、交流人口拡大、C.R.C.等による定住促進効果が再建で高まる。後の付帯決議に賛同すべく、本修正動議に反対する。



中村忠行議員
修正動議への
×反対討論者

修正動議を受け「反対」「賛成」の立場で討論へ



須藤典夫議員
修正動議への
○賛成討論者

地域住民の意向が全く反映されてない。複数の投書や地域の方々の意見からも、地域の方々が賛同していないのは明らか。自律のまちづくり基本条例は、総合計画に定める重要な計画を策定する際は、町民の意見を求め、町民参加の手法を踏まえ作成すべきとされている。本件は、地域の声が全く反映されていない中で計画が作られ、将来運営の見直しも不透明で課題も多く、本修正動議に賛成する。

旧谷口分校は、「地域力」のシンボルとして全国的に親しまれてきた。素晴らしい西郷地域振興の源である地域力を継承するため、旧谷口分校を可能な限り以前のまま復元し、がっこそばを継続したい。町民ホールの壁画テーマである「力・団結・調和」を軸に、町の総力を結集して再建したい。

地域振興拠点なら住民とビジョンを作り具現化すべき。住民説明も行われず、完成後の運営見通しもない。大きな成果につなげるため、規模、財源を含めて見直し、段階を踏んで取り組むべきで、経費1億4223万6千円のうち、解体経費412万円を除いた1億3811万6千円を減額すべき。



鈴木町長
事業概要
説明要旨



早坂憲明議員
予算修正
動議提出者

予算特別委員会

3月13日予算特別委員会で旧谷口分校再建予算の修正動議が提出されたが、「賛成少数」で否決後、町長提出の予算原案が可決。その後、付帯決議が賛成多数で可決され、本会議でも可決。「付帯決議」とは、議会として意見を付すもので、法的拘束力はないが当局は十分配慮すべきものとされる。

再建の取り組みがスタートして間もない4月24日の議会全員協議会では、町長から旧谷口分校の再建を断念する旨の説明があり、課題を残しつつも、現状ではやむを得ないとの声が多くを占めた。

付帯決議文

「旧谷口分校再建整備事業」について、再建の趣旨に沿って適切に事業を進めるには、将来像を見据えた具体的なビジョンを示すとともに、西郷地域など関係者の理解を十分に得ながら進めることが強く求められていることから、十分配慮して進めること。

平成30年3月13日
金山町議会



西郷地域活性化センターとして再建を予定していた旧谷口分校 (平成29年12月焼失)

本会議



沼澤道也議員
付帯決議
動議提出者
本会議では、議員発議として議案提出 ※討論なし

「旧谷口分校再建整備事業」を再建趣旨に沿って早期かつ適切に進めるには、具体的なビジョンと地域の理解が欠かせないことから、平成30年度金山町一般会計予算に議会として付帯決議を付すべき。

(提出者 沼澤道也議員・賛成者 中村忠行議員)

町長提出
予算原案
可決

予算委員会
本会議

付帯決議に
対する賛否

修正動議に 対する賛否

「○」は賛成 「×」は反対
「-」は委員長または議長のため採決には加わらない

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
栗田 保則	高橋 芳夫	矢口 政一	早坂 憲明	中村 忠行	須藤 典夫	沼澤 道也	高橋 浩樹	寒河江 宏一	柴田 清正
×	-	×	○	×	○	×	×	×	×

○	-	○	×	○	×	○	○	○	○
○	○	○	×	○	×	○	○	○	-

「旧谷口分校再建事業」改め

西郷地域活性化センター整備事業

4/24

町長 議会全員協議会で表明

再建への
取り組みが
スタート

再建断念

町と議会に対し、再建後の「がっこそば」の運営を予定していた企業組合から、運営の担い手不足や資金難などを理由とした「辞退届」が提出された。これを受けて、町長はやむを得ず再建計画を断念することを4月19日に決断したといい、急きょ4月24日に開催された本協議会で説明した。

「悔しいが、建物だけが残ることは避けたい」という思いからの判断といい、議員からは「この度の事案をしっかりと総括し、今後の地域振興策に活かして」との要望も出された。

本件は、様々な課題を残し、6月議会定例会へと引き継がれた。